

製品名: SDHB ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17680**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット、魚
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	31kDa

抗原情報

遺伝子名	SDHB
別名	SDHB; SDH; SDH1; Succinate dehydrogenase [ubiquinone] iron-sulfur subunit, mitochondrial; Iron-sulfur subunit of complex II; Ip
遺伝子 ID	6390.0
SwissProt ID	P21912
免疫原	抗血清は、ヒト SDHB の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

呼吸鎖複合体 II は、コハク酸の酸化に特異的に関与し、FADH から CoQ へ電子を運搬する。この複合体は 4 つの核コードサブユニットから構成され、ミトコンドリア内膜に局在する。鉄硫黄サブユニットは高度に保存されており、酵素の鉄硫黄中心を構成すると考えられる 3 つのシステインに富むクラスターを含む。この遺伝子の散発性および家族性変異は、傍神経節腫および褐色細胞腫を引き起こし、ミトコンドリア機能不全と腫瘍形成との関連を裏付けている。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: コハク酸 + ユビキノン = フマル酸 + ユビキノール、補因子: 1 つの 2Fe-2S クラスターに結合します。、補因子: 1 つの 3Fe-4S クラスターに結合します。、補因子: 1 つの 4Fe-4S クラスターに結合します。、疾患: SDHB の欠陥は、カウデン様症候群 [MIM:612359] の原因です。カウデン様症候群は、乳がん、甲状腺がん、腎臓がん、子宮がんのリスク増加に関連する、がん素因症候群です。、疾患: SDHB の欠陥は、傍神経節腫および胃間質肉腫 [MIM:606864] の原因です。カーニー・ストラタキス症候群とも呼ばれます。消化管間質腫瘍は、散発性または常染色体優性遺伝性であり、単独で発生する場合もあれば、神経線維腫症 1 型 (NF1) のように他の腫瘍に関連する症候群の一部として発生する場合もあります。患者は消化管間質腫瘍と傍神経節腫の両方を有します。これらの腫瘍に対する感受性は、明らかに常染色体優性遺伝性で、不完全浸透でした。疾患: SDHB の欠陥は褐色細胞腫 [MIM:171300] の原因です。褐色細胞腫は、カテコールアミン産生のクロマフィン腫瘍であり、症例の 90% は副腎髄質に発生します。残りの 10% は副腎外交感神経節に発生し、「傍神経節腫」と呼ばれることがあります。褐色細胞腫は通常、高血圧を呈します。褐色細胞腫の約 10% は遺伝性です。褐色細胞腫の感受性は、腫瘍抑制遺伝子 VHL および NF1、ならびにプロトオンコジーン RET における生殖細胞系列変異と関連している可能性があります。非症候性家族性褐色細胞腫の大部分の遺伝学的根拠は不明です。、疾患: SDHB の欠陥は、遺伝性傍神経節腫 4 型 (PLG4) [MIM:115310] の原因です。PLG4 は、家族性非クロマフィン傍神経節腫 4 型とも呼ばれます。傍神経節腫は、神経内分泌系のあらゆる構成要素から発生するまれで、ほとんどが良性の腫瘍です。PLG4 は、頭頸部に発生する、ほとんどが良性で、血管が密集した、ゆっくりと成長する腫瘍が特徴です。頭頸部では、頸動脈小体がすべての傍神経節の中で最大であり、腫瘍が最もよく発生する部位でもあります。、機能: ミトコンドリア電子伝達系の複合体 II に関与し、コハク酸からユビキノン (コエンザイム Q) に電子を伝達する役割を担うコハク酸脱水素酵素 (SDH) の鉄硫黄タンパク質 (IP) サブユニット。、経路: 炭水化物代謝; トリカルボン酸回路。、類似性: コハク酸脱水素酵素/フマル酸還元酵素鉄硫黄タンパク質ファミリーに属します。、類似性: 1 つの 2Fe-2S フェレドキシン型ドメインを含みます。、類似性: 1 つの 4Fe-4S フェレドキシン型ドメインを含みます。、サブユニット: 4 つのサブユニット (フラビントタンパク質 (FP) sdha、鉄硫黄タンパク質 (IP) sdhb、および sdhc と sdhd からなるシトクロム b560) からなる複合体 II の構成要素。、

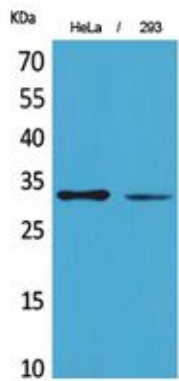
研究分野

クエン酸回路 (TCA 回路); 酸化リン酸化; アルツハイマー病; パーキンソン病; ハンチントン病;

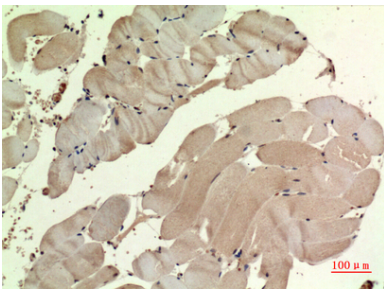
画像データ



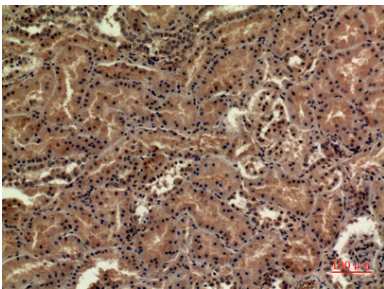
SDHB 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



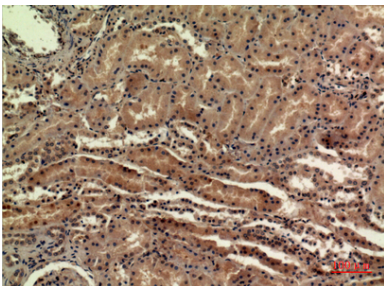
SDHB ポリクローナル抗体を用いた HeLa293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された